

## 学位論文審査の基準

<健康科学専攻 口腔保健福祉学プログラム（博士後期課程）>

研究テーマの妥当性：

テーマの選択や問題設定が先行研究を着実に踏まえて行われているか。

既存研究との関連で十分な意義や妥当性・独自性、適切性を有しているか。

結論が明確に提示され、問題設定に対応しているか。

研究方法と論旨の展開：

先行研究を踏まえて研究方法の選択が行われているか。

事実調査や文献などの検索・評価が充分になされ、データなどを的確に収集しているか。

研究資料の文献の読解が正確であり、データの分析・解釈が的確であるか。

論旨は十分な体系性・一貫性を有しているか。

学術的意義：

研究内容が独自性をもち、十分な検証が行われ、新しい知見を有しているか。

未解明の問題について、今後の見通しを踏まえた位置づけを考察しているか。

博士学位論文において達成された内容が、今後の教育・研究・診療・地域活動などに貢献するか。

論文構成：

博士学位論文として、テーマにふさわしい適切かつ十分な分量と形式を有しているか。

学術雑誌に投稿可能な様式に整っており、文法的・語法的に正しく、明確かつ適切な表現で書かれているか。

新潟大学大学院医歯保健学研究科健康科学専攻

看護学プログラム・次世代医療技術科学プログラム

学位論文審査基準

[博士後期課程]

1. 研究課題の妥当性  
研究課題が保健学の分野において、独創性、発展性及び有用性を有しているか。
2. 情報収集能力  
研究課題に関して十分な研究動向の調査を行い、研究の意義や重要性について理解しているか。
3. 研究遂行能力  
研究領域において問題を提起するとともに、問題の分析に用いた実験手法や解析手法の設定は適切であるか。また、分析の結果から有用な知見が得られているか。
4. 情報発信能力  
研究成果を理解しやすく発表でき、質問に対して的確に回答できたか。
5. 倫理的配慮  
研究方法及び対象者に関する倫理的配慮がなされているか。
6. 論文作成能力  
論文の記述（要旨、目次、本文、参考文献等）が適切かつ十分であり、緒論から結論まで一貫して論理的であり、整合性があるか。